

**HEPHAIST**

東証スタンダード：6433

# 2024年3月期 決算説明会

6月5日(水)

**ヒーハイト株式会社**

【第62期 経営方針】  
不易流行

# 目次

1. 2024年3月期決算概要
2. 2025年3月期業績予想
3. 参考資料
4. 直近のTOPICSと今後の展開

# 1. 2024年3月期決算概要

➤ **連結売上高：23億1千万円** 前年同期比  
1億3百万円（4.3%）減

- 直動機器は、生産力の強化により、注文に対するタイムリーな納品対応ができ、売上高 15億9千1百万円（前年同期比4.3%増）
- 精密部品加工は、レース用部品の供給が本格復帰前の準備段階にあるため前年より減少し、売上高 5億2千9百万円（前年同期比21.4%減）
- ユニット製品は、中国市場の受注停滞や、電子デバイス、液晶パネル等の生産設備投資の需要回復の遅れにより、売上高 1億8千8百万円（前年同期比11.7%減）

➤ **連結経常損失：1億5千6百万円** 前年同期比  
1億6千万円（-%）減

- 売上高の減少。
- 設備投資増加による減価償却費の増加。
- 原材料価格・物流費・工場消耗品等の上昇。
- 新建屋立ち上げによる移設費等の発生による製造原価の増加。

・売上高は、中国経済の停滞を背景に産業用機械や半導体製造装置向けで需要の低迷が継続しており、対前年比で減少となりました。また、利益面は、繰延税金資産を取り崩し、法人税等調整額に計上したことにより当期純損失が増加しました。

(単位：百万円)

損益	2023/3期 (実績)	2024/3期(実績)				対前年増減額 (前年比)	2024/3期 (予想) <small>※2024年2月9日修正</small>	対予想増減額 (予想比)
		上期	下期	通期	構成比			
売上高	2,414	1,126	1,183	2,310	100.0%	△103 (△4.3%)	2,271 38 (1.7%)	
売上 総利益	477	142	173	315	13.7%	△161 (△33.9%)	315 0 (0.1%)	
販管費及び 一般管理費	483	238	235	474	20.5%	△8 (△1.8%)	479 △4 (△1.0%)	
営業利益又は 営業損失	△5	△96	△62	△158	△6.9%	△153 ( - %)	△163 5 ( - %)	
経常利益又は 経常損失	3	△92	△64	△156	△6.8%	△160 ( - %)	△160 3 ( - %)	
当期純利益又 は当期純損失	△2	△64	△157	△221	△9.6%	△219 ( - %)	△117 △104 ( - %)	

- 需要が低迷しているものの、売上高は各品目とも第1四半期から緩やかに上昇しましたが、第4四半期に減少しました。
- 売上トップラインが低迷した分、年間を通じて損失計上となりました。
- 直動機器は、販売先と需要回復に備えて戦略的に在庫を積むための出荷を第3四半期迄継続してきましたが、第4四半期は受注動向が回復せず、在庫調整もあり減少しました。
- 精密部品加工は、第1四半期は少なく、第2四半期以降に計画的に出荷しております。
- ユニット製品は、停滞している中国市場及び海外向けは少なく、国内のリピート対応が中心となりました。

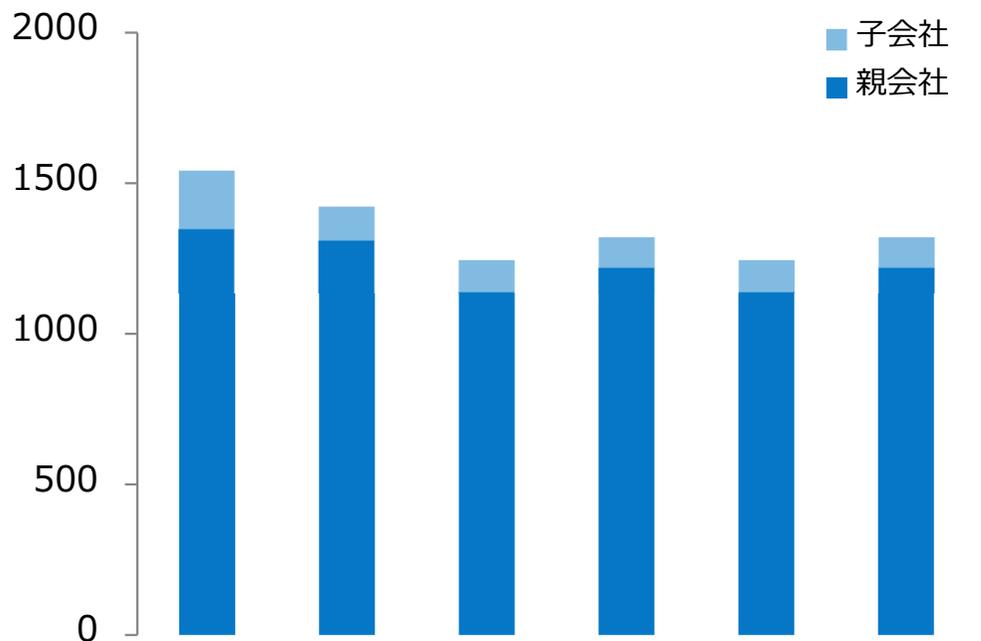
(単位：百万円)

損益	2024/3期 第1四半期	2024/3期 第2四半期	2024/3期 第3四半期	2024/3期 第4四半期	2024/3期 通期
売上高	507	619	643	540	2,310
営業損失	△64	△31	△3	△59	△158
経常損失	△62	△29	△2	△61	△156
四半期(当期)純損失	△42	△21	△5	△153	△221

品目別	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
直 動 機 器	411	81.1%	414	67.0%	417	64.9%	348	64.4%	1,591	68.9%
精 密 部 品 加 工	57	11.3%	148	23.9%	174	27.2%	149	27.6%	529	22.9%
ユ ニ ッ ト 製 品	38	7.6%	55	9.0%	51	8.0%	43	8.0%	188	8.2%
合 計	507	100.0%	619	100.0%	643	100.0%	540	100.0%	2,310	100.0%

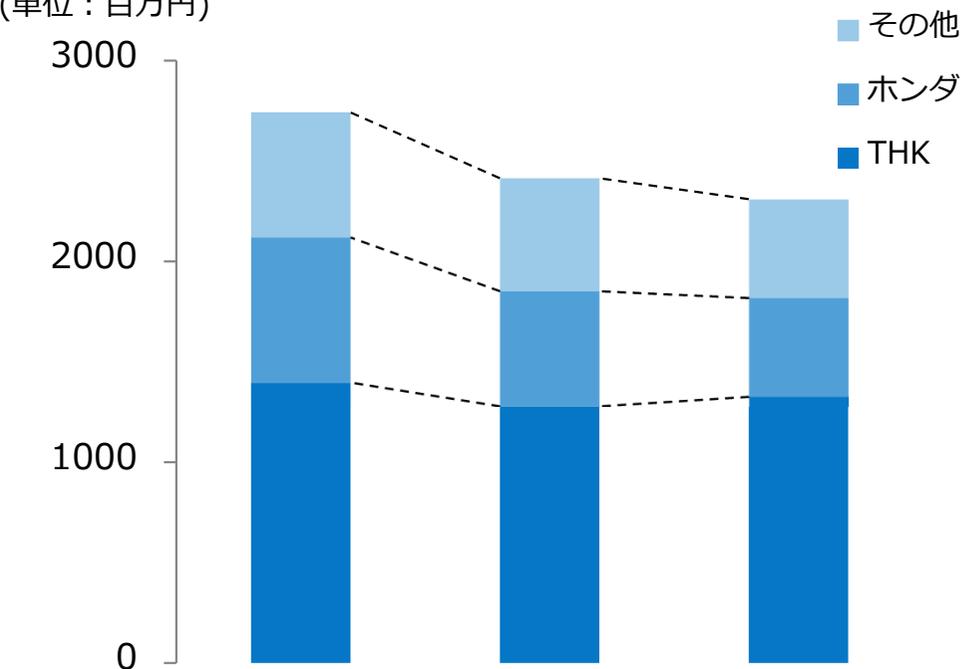
- 中国経済の停滞を背景に産業用機械や半導体製造装置向けで需要の低迷が継続。
- 特定販売先への依存度が高く、需要が受注に影響。

(単位：百万円)



	2022/3	2023/3	2024/3
THK	1,398	1,280	1,327
ホンダ	723	575	494
その他	621	559	489
合計	2,742	2,414	2,310

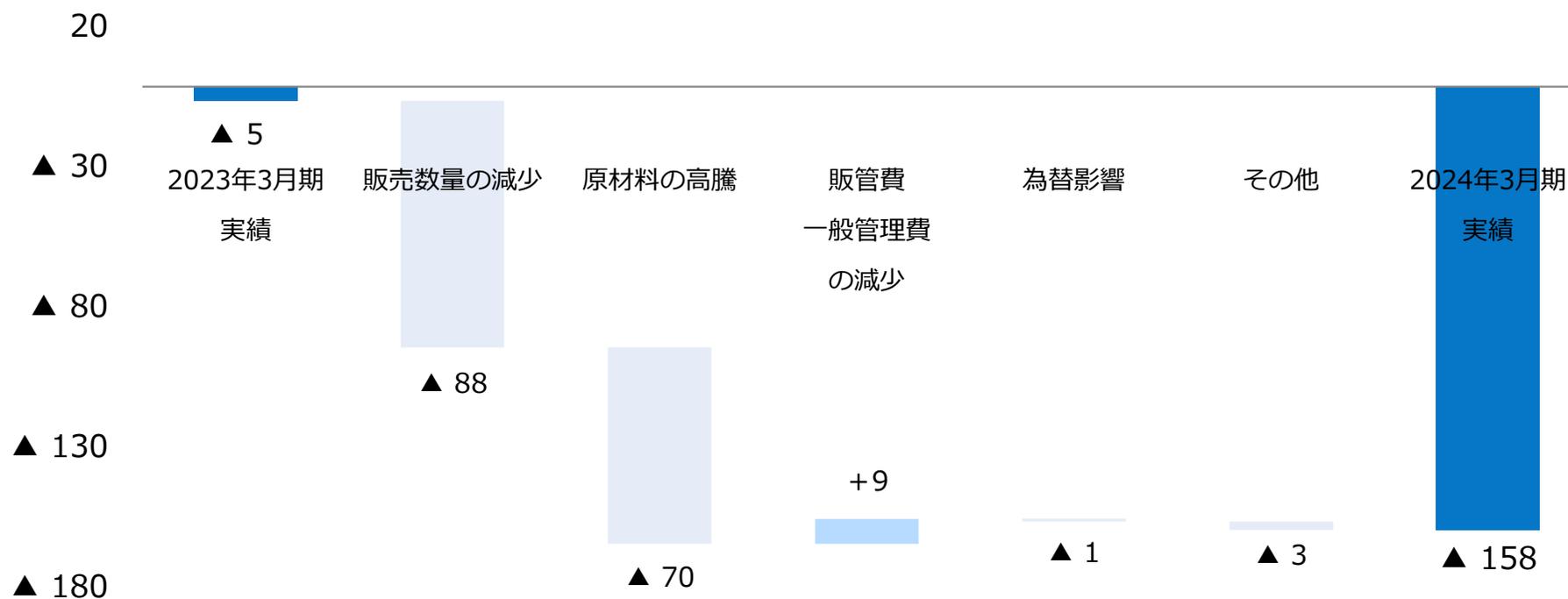
(単位：百万円)



	2022/3	2023/3	2024/3
THK	1,398	1,280	1,327
ホンダ	723	575	494
その他	621	559	489
合計	2,742	2,414	2,310

- 販売数量が減少し原材料価格の高騰もあり、営業利益が前期比減少。

(単位：百万円)



(単位：百万円)

貸借対照表	2023/3期 (実績)	2024/3期 (実績)	増減額	コメント
流動資産合計	2,634	2,729	94	棚卸資産 売上債権 147百万円増 24百万円減
固定資産合計	2,511	2,654	142	設備投資 繰延税金資産 174百万円増 60百万円減
<b>資産合計</b>	<b>5,146</b>	<b>5,383</b>	<b>236</b>	
流動負債合計	954	1,070	115	1年内返済予定 の長期借入金 109百万円増
固定負債合計	962	1,294	332	長期借入金 リース債務 166百万円増 170百万円増
<b>負債合計</b>	<b>1,916</b>	<b>2,365</b>	<b>448</b>	
純資産合計	3,229	3,018	△211	※連結自己資本比率56.1%
<b>負債純資産合計</b>	<b>5,146</b>	<b>5,383</b>	<b>236</b>	

(単位：百万円)

キャッシュ・フロー	2023/3期 (実績)	2024/3期 (実績)	コメント
<b>営業活動によるCF</b>	△39	166	(プラス面) 減価償却費の増加・仕入債務の増加 (マイナス面) 棚卸資産の増加
<b>投資活動によるCF</b>	△430	△322	有形固定資産の取得
<b>財務活動によるCF</b>	354	171	借入金の増加 借入金の返済
現金及び現金同等物に係る 換算差額	7	5	
現金及び現金同等物の 増加額(△は減少)	△108	20	
現金及び現金同等物の 期末残高	864	884	

## 2. 2025年3月期業績予想

- 自動化関連の需要に向けて、強化した生産設備の生産能力を生かした直動機器のスマート生産を実践し、生産の増強及び販売の拡大を図って参ります。

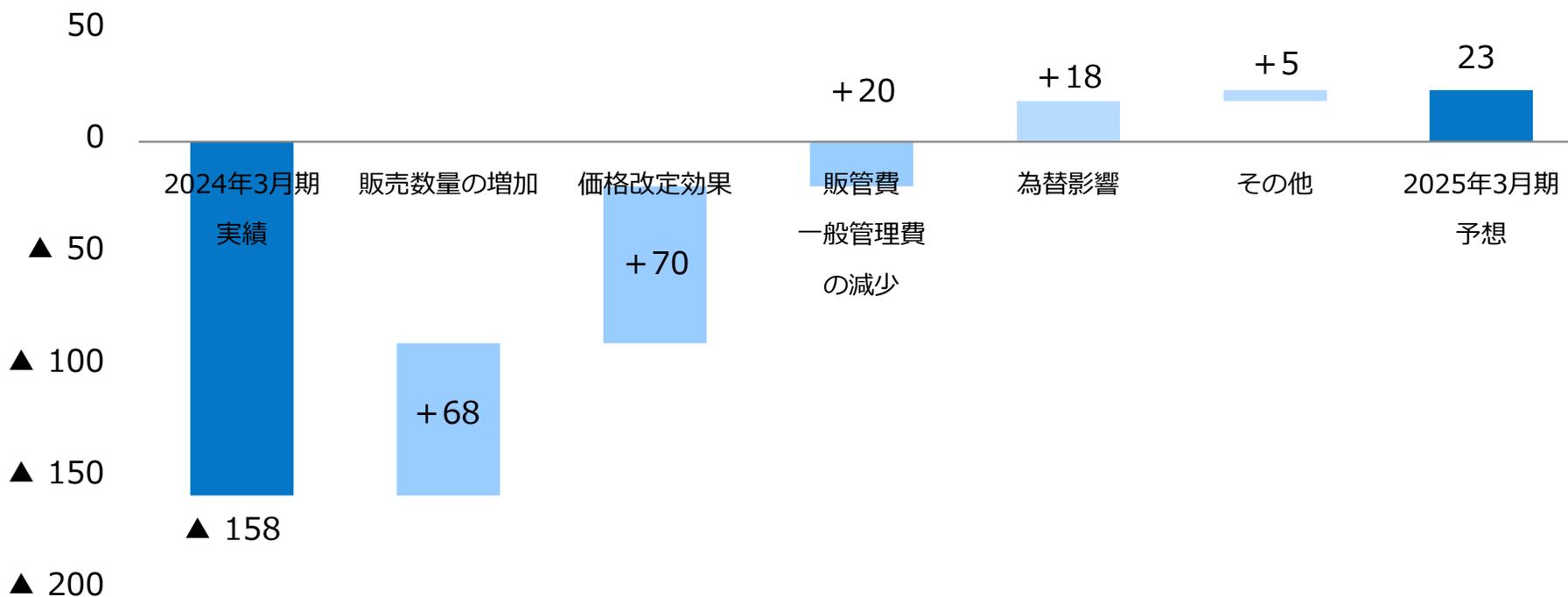
(単位：百万円)

損益	2024/3期 (実績)			2025/3期 (予想)	前期比
		上期 (予想)	下期 (予想)		
売上高	2,310	1,028	1,424	2,452	6.2%
営業利益又は営業損失	△158	△54	78	23	－%
経常利益又は経常損失	△156	△57	74	16	－%
当期純利益又は当期純損失	△221	△59	72	12	－%
売上高営業利益率	△6.9%	△5.3%	5.5%	1.0%	7.8P

品目別	2024/3期 (実績)			2025/3期 (予想)	前期比
		上期 (予想)	下期 (予想)		
直動機器	1,591	706	898	1,605	0.8%
精密部品加工	529	195	385	580	9.5%
ユニット製品	188	126	141	267	41.5%
売上合計	2,310	1,028	1,424	2,452	6.2%

- 半導体需要の高まりや人手不足に伴う自動化に向けた設備投資の増加などにより、経済活動の正常化に向けた動きは継続していくものと想定されます。
- 為替社内レートは、人民元20円

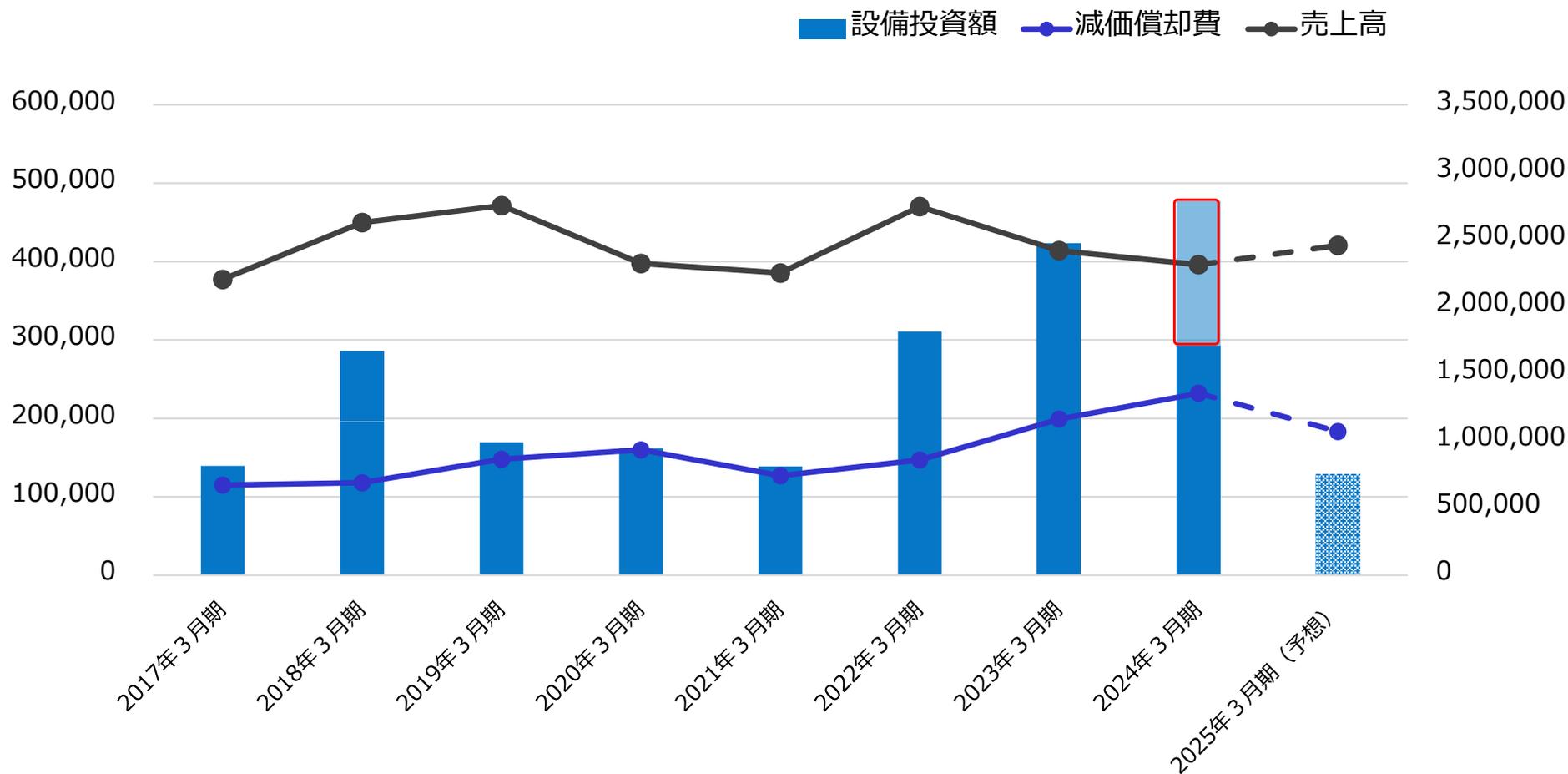
(単位：百万円)



- 埼玉工場内に新設した直動機器増産のための新工場A棟の稼働を5月に開始するなど、中期計画に必要な設備投資を実行することで生産を増強して参りましたが、それにより減価償却費が増加しております。

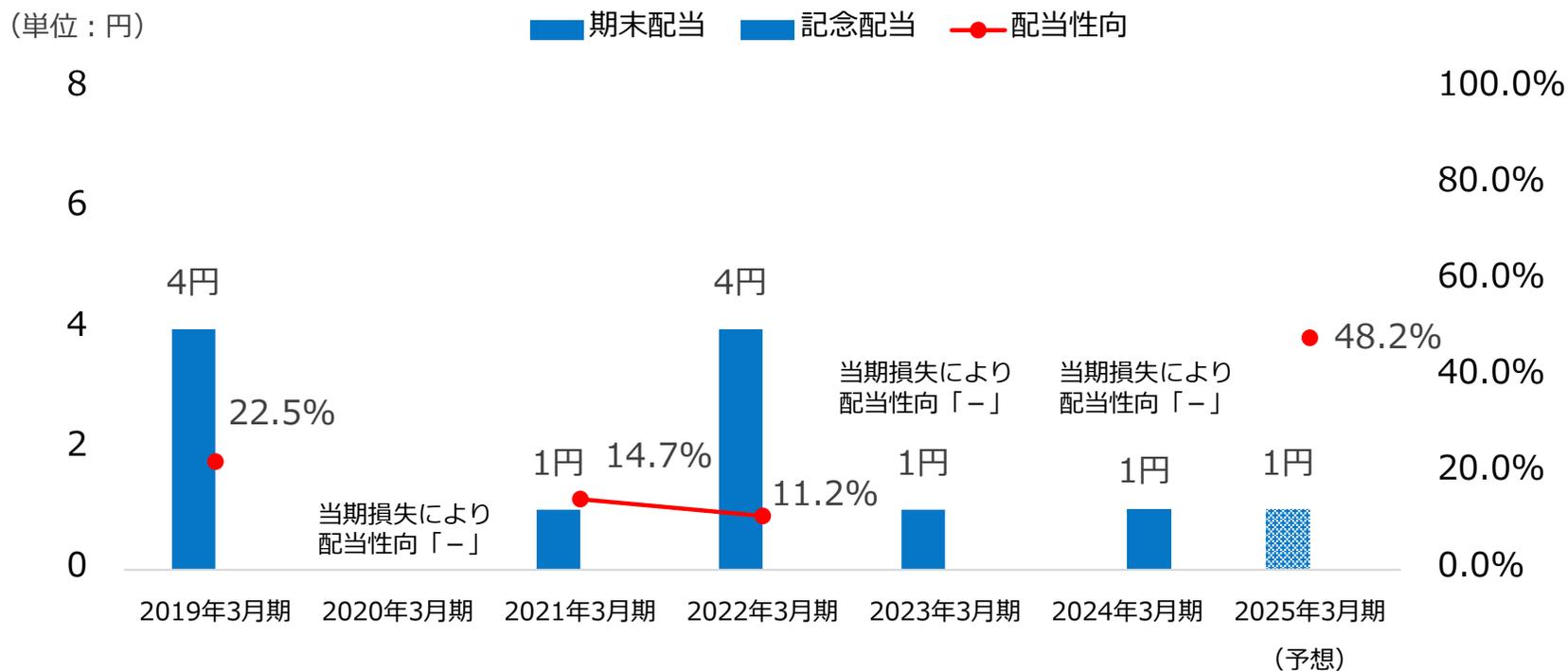
設備投資額  
(単位：千円)

売上高  
(単位：千円)



➤ 株主還元の強化

- ・ 配当方針として、2027年3月期までに連結配当性向20～30%に強化。
- ・ 自己株取得を有効に活用し、人事戦略等に使用する。



### 3. 参考資料

社名	ヒーハイト株式会社
本社	〒350-1151 埼玉県川越市今福580番地1
工場	埼玉工場 〒350-1151 埼玉県川越市今福580番地1 [敷地面積16,677㎡ 建物面積7,997㎡] TEL : 049-273-7000 (代表) / FAX : 049-273-7001 秋田工場 〒010-1653 秋田県秋田市豊岩小山字下田454 (豊岩工業団地内) [敷地面積36,292㎡ 建物面積4,525㎡] TEL : 018-828-0111 / FAX : 018-828-1192
海外	赫菲(上海)軸承商貿有限公司 HEPHAIST (SHANGHAI) Co., Ltd. 赫菲(上海)軸承商貿有限公司 蘇州分公司 HEPHAIST (SHANGHAI) Co., Ltd. Suzhou branch
資本金	732,552,000円 (2023年3月)
上場株式市場	東京証券取引所スタンダード (証券コード : 6433)
発行済株式数	6,316,700株
代表者	代表取締役社長 尾崎 浩太
設立	1962年 (昭和37年) 7月19日

## 直動軸受 (円筒) 製品

世界で最初にリニアボールブッシュのミニチュアシリーズの量産を開始したリニアボールブッシュパイオニアメーカーであるヒーハイト製リニアボールブッシュは、コンパクトで使いやすく高精度・高品質リニアモーションベアリングで、メカトロニクスシステムにとって高速化、小型化、省エネルギー化への欠かすことの出来ない重要な機械要素です。



リニアボールブッシュ



シャフトフォルダ



ミニチュアボールねじ  
スプライン(BSSP)

## LMHB

### ハウジングに圧入組付けするリニアブッシュ



軽量化リニアボールブッシュLMHB

## ボールスプラインユニット

ボールの転がり運動を利用した直線運動機構であり、軸と外筒の転走(送)溝の案内により、ラジアル荷重だけでなく、回転トルクを受けることができます。トルクを伝達しながら直線運動をする機構に最適で、搬送装置やロボットなど幅広い分野で使用されています。



有限ストロークボールスプライン

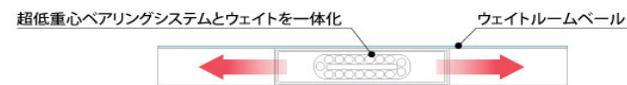
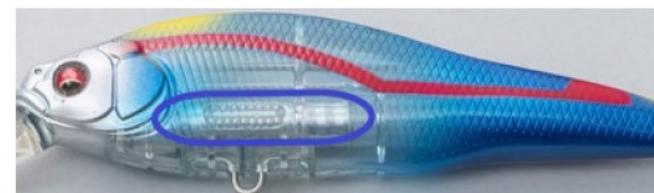


回転ベアリング一体型ボールスプライン  
ユニット (有限ストローク)

## SGIL

### リニアボールブッシュの機構に重りを付けてルアーに内蔵し、慣性により飛距離を伸ばせる機構

#### ルアーの重心移動リニアボールブッシュ SGIL



ヒーハイトは、未来を担う若手ドライバーの支援を通じたモータースポーツ振興を目的に、ドライバーの育成や挑戦をサポート・応援しています。



ヒーハイトは、1962年創業以来モータースポーツ向けエンジンパーツの製造に深く関わってまいりました。

0.1秒の速さを競うモータースポーツに提供するエンジンパーツは技術的要求が高く、その部品製造には独自のノウハウと高度な加工技術が要求されます。モータースポーツの発展とともに変化する技術的要求に真摯に取り組んだことにより、一つひとつの高度な技術を確実に蓄積することができました。

この培った高度な技術と永年にわたるエンジンパーツの製造から学んだ「モノづくり精神」は今日の独創的な製品を生み出す源となっています。

モータースポーツの発展とともに歩んできた当社は、「世界に通用するドライバーの育成」を掲げ、Hondaの若手ドライバー育成プログラムに心より賛同し、「ホンダ・フォーミュラ・ドリーム・プロジェクト」を応援いたします。

ヒーハイト株式会社  
代表取締役社長 尾崎 浩太

## 高精度位置決めステージ

ヒーハイトの高精度位置決めステージは、長年培ってきた直動案内軸受及び、精密機器部品の加工技術に、独創的な設計を基に開発された、これまでに類例を見ない数々の特長を備えた高精度位置決めステージです。



XYθ ステージ



超精密ステージ



Zチルトステージ



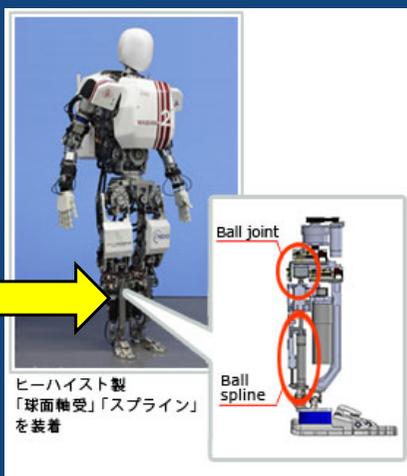
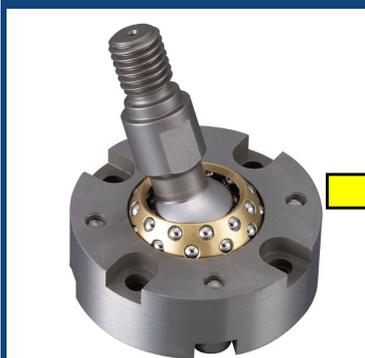
Z軸ステージ

## 球面軸受

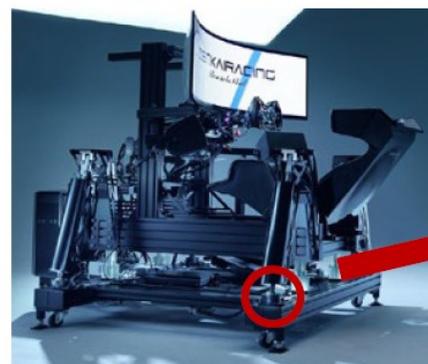
パラレルメカニズムにとって不可欠な多自由度のジョイントは、これまで回転ジョイントの組み合わせによって2~3自由度を得ていました。しかしこれらのジョイントは構造上複雑になり、大きくなってしまいうという特長がありました。また多自由度を持つ滑りの球面軸受もありますが、大きな摩擦抵抗と内部隙間がありました。ヒーハイトではこれらの課題を解決すべく転がりによる球面軸受を開発しました。



## 球面軸受使用例



## 4軸モーションシミュレーターに使用される球面軸受 SRJ



出所：(株)ゼンカイレーシング提供資料 4軸モーションシミュレーターより掲載

<p>環境 SDGs</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 太陽光発電の設置（年間発電量約162,000kwh、CO<sup>2</sup>排出量年間約60.65tの削減を見込む）</li> <li>2. 廃棄物を固形燃料へ再利用「RPF」（Refuse Paper &amp; Plastic Fuel）</li> <li>3. フードドライブ事業参加（食品廃棄ロスを減らし、子ども食堂へ食品を寄付）</li> <li>4. 国際協力活動支援（チャイルド・スポンサーシップ）（貧困に苦しむ支援地域の環境整備を支援）</li> <li>5. 紙のエコ化（卵の殻のリサイクル） エコペーパー「CaMISHELL®」の使用</li> </ol>
--------------------	--

1. 太陽光発電



2. 廃棄物を固形燃料へ「RPF」



3. フードドライブ事業

**2023年度**  
**子ども食堂・フードパントリーを**  
**応援する企業認定証**

**ヒーハイト株式会社**

貴社はフードドライブ活動を通じて、子ども食堂・フードパントリーを  
 応援いただいております。ご協力に感謝いたします。

明治安田生命川越支社は、子ども応援ネットワーク埼玉（埼玉県）が取り組む子ども食堂・フードパントリー等の「子供の居場所」の支援に共感し協力しています。このフードドライブ活動は、明治安田生命と埼玉県が締結した包括連携協定のうち「子育て支援」項目のひとつです。当社はこれからも、子ども食堂・フードパントリーを支援するため、地元の企業さま等と協働でこの活動を展開します。

明治安田生命保険相互会社  
 2024年2月 川越支社長 鈴木 崇生

4. 国際協力活動支援  
（チャイルド・スポンサーシップ）



ワールド・ビジョン・ジャパン2023年  
度年次報告書より許可を得て転載

5. 紙のエコ化  
（卵の殻のリサイクル）  
「CaMISHELL®」



※「CaMISHELL®」は、株式会社SAMURAI TRADING、三菱製紙株式会社、新生紙パルプ商事株式会社及びTouchcard株式会社にて共同出願した登録商標です。

人的資本経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 奨学金返還支援手当の導入</li> <li>2. 持株会活性化（奨励金還元率UP 50%へ）</li> <li>3. 秋田市元気な子どものまちづくり企業認定</li> </ol>
取引先関係	<p>※. パートナーシップ構築宣言で協力会社への対応 支払サイトの短縮化（手形60日に変更）</p>

1. 奨学金返還支援制度の導入  
業務に集中して安心して長く働ける環境を整え、人材の確保と定着をより一層図って参ります。

2. 持株会活性化  
・奨励金還元率を従来の5%から50%に増額  
・社員と会社とのエンゲージメント向上を高め、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に努めて参ります。

※ パートナーシップ構築宣言で協力会社への対応  
・支払サイトの短縮化（手形60日に変更）  
・サプライチェーンの取引先や価値創造を図る事業者の皆様との連携による相互付加価値向上及び、共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップの構築を目指します。

## 4. 直近のTOPICSと今後の展開

## 経営ビジョン

自動化・省力化の機械要素部品

「リニアブッシュ・アジアNo.1」

## 戦略

自社の弱点を強さに変える

→フランジ増産及び拡販によりシェア拡大を目指す

2020～2023 「設備投資額＞減価償却費」

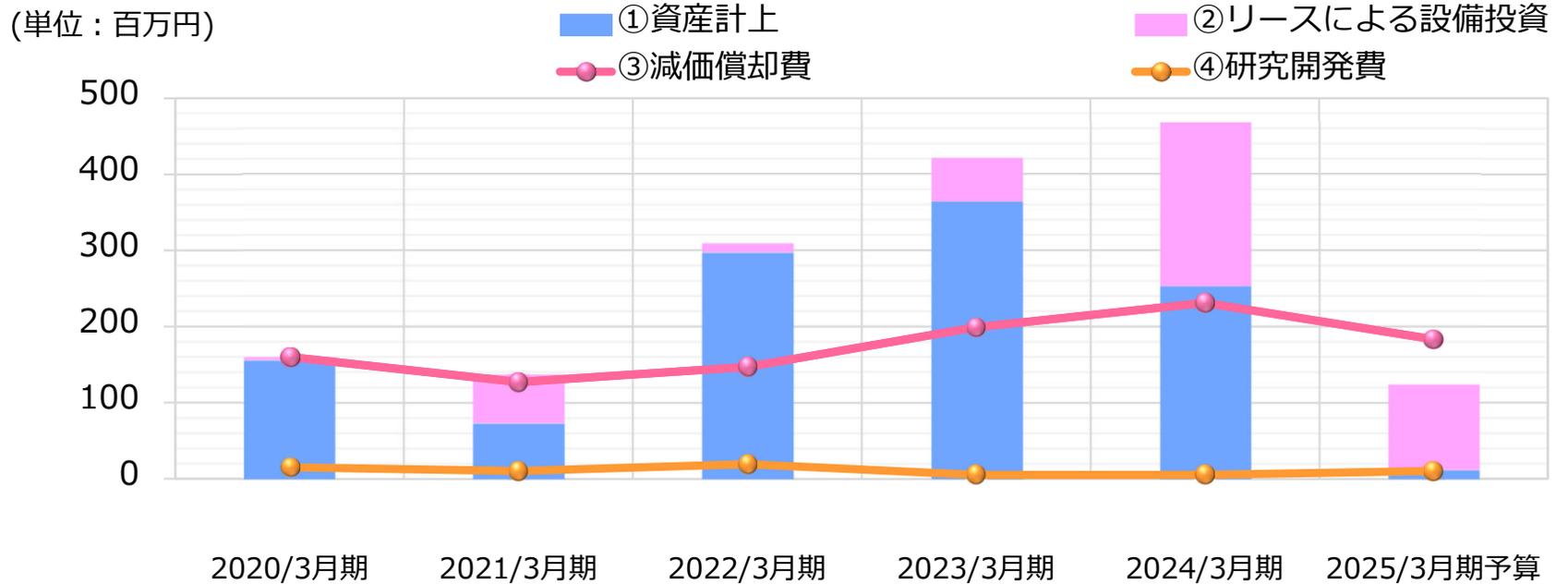
2024～ 「揃えた武器で結果を出す」

「スクラップアンドビルド」

半導体市場は、24年は再び徐々に市況が良くなっていき、

25年には過去最高の市場規模となる予測

資産計上(その他)に、A棟198百万円が含まれております。  
 減価償却費は、機械設備は12年定率償却、建物は30年定額償却しております。  
 研究開発費は、主に社内の自動化生産に向けた改善・開発の取り組みとなっております。



①+②設備投資合計	161	138	<b>310</b>	<b>422</b>	<b>468</b>	128
①-1 資産計上 (機械)	95	44	259	296	27	8
①-2 資産計上 (その他)	61	29	38	68	226	8
②リースによる設備投資	4	64	12	57	215	112
減損 355						(単位：百万円)
③減価償却費	160	127	<b>147</b>	<b>199</b>	<b>231</b>	183
④研究開発費	15	10	19	5	5	10

# 不易流行

「不易」とは、どのような時代や環境になろうとも、変えてはならないこと。

「流行」とは、その時代、時代の環境の変化に順応していかなければならないこと。

今後も市場の変化を注視し、

取るべきアクションを慎重に見極めながらも迅速に対応していく。

## 成長とは、変化すること、変化を起こすこと

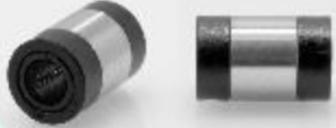
これからが（2024年～2025年） これまでを決める

◇コロナは収束したが、取り巻く状況は「平時ではなく有事」と捉え、

**有事での発想の攻守が必要**

P = 製品/事業 (Product)

M = 市場/マーケット (Market)

	既存製品 既存事業	新製品 新規事業
既存市場 既存顧客	<p>現業の深化・市場の浸透</p> <p>フランジ強化</p>  <p>2020年</p>	<p>精密部品加工 《F1等》</p> 
新市場 新規顧客	<p>既存技術を応用した製品で新市場開拓</p> <p>回転ベアリング一体型ボールスプラインユニット</p>  <p>2010年</p> <p>BSSP</p>  <p>2010年</p> <p>UTB 《遊技市場》</p>  <p>2013年</p> <p>LBO II 《釣り具市場》</p>  <p>2014年</p>	<p>多角化</p> <p>新市場に新製品を投入</p> <p>「チャレンジはするが冒険はしない。 冒険はしないがチャレンジはする」</p>

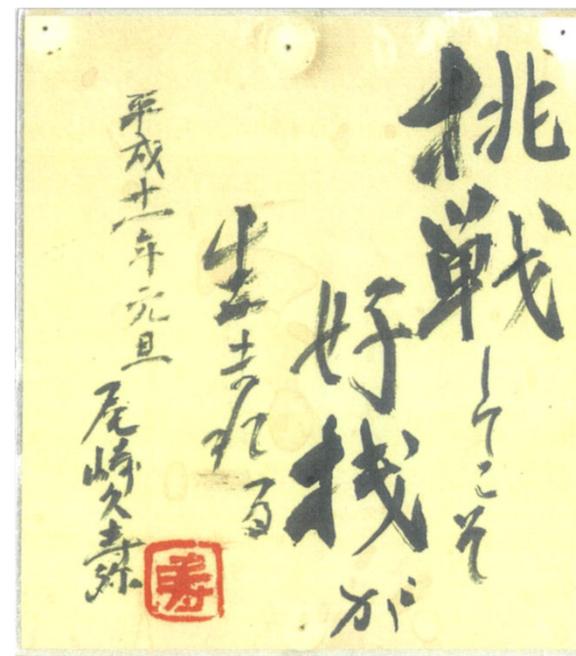
▲既存のP、又はMのどちらかのシナジーを活用することでリスクを低減する



サイズ 3, 4, 5, 6, 8, 10, 12, 13,  
16, 20, 25, 30, 35, 38, 40, 50, 60

サイズ 8, 8S, 10,  
12, 14, 16, 20

## 引き続き「フランジ生産強化」





## ヒーハイト株式会社

担当窓口 : 取締役 管理部長 佐々木 宏行  
          : 管理部 総務課長 大松 勝

TEL : 049-273-7000

FAX : 049-273-7001

E-mail : [info1@hephaist.co.hp](mailto:info1@hephaist.co.hp)

URL : <https://www.hephaist.co.jp/>

この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略などは、発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。あくまでも将来の予測であり、様々なリスクや不確定要素により、実際の業績と大きく異なる可能性がございますことを、あらかじめご承知置きくださいますようお願い申し上げます。